

Kita Alps 地域おこし協力隊 通信

vol. 7

長野県北アルプス地域振興局

企画振興課

2023年3月

大町市地域おこし協力隊員
まちづくり交流課

池田 和博 さん (38)

任期 2019年4月～
出身地 大阪府
前居住地 大阪府
前職 小学校特別支援学級 支援員
趣味 登山・ウインタースポーツ



現在の活動

・文化芸術振興

隊員になる前

小学校の特別支援学級の支援員として、障がいを持つ子の学校生活や勉強のお手伝いをしていました。僕も妻も登山が好きで、この地域には度々訪れていました。子どもが生まれてからも、家族でテントや軽バンに泊まりながら旅行を楽しんでいました。いつかここに住めたらいいなと、山を眺めながらの生活に憧れていたのです。

隊員になったきっかけ

白馬を家族で旅行した際に、北アルプス国際芸術祭の第一回が開かれていて、鑑賞してとても印象に残りました。山もあるしゲレンデもある、おまけに芸術まである。とても魅力的な地域だなと興味を持ちました。

市の隊員募集を見つけたのは妻でした。芸術祭の仕事とあって面白そうやなど。締め切りまで時間が無い中での応募でしたが、結果的に採用に。採用通知をもらってから任期開始までわずか数カ月でしたが、どうにかなるやると、ワクワクしながら移住しました。

担当業務

第二回の北アルプス国際芸術祭の運営が主な活動です。当初は2020年に開催される予定でしたがコロナ禍で翌年に延期に。具体的な活動は、アートサイト（作品の展示場所）の候補地探しから始まり、芸術祭に出展するアーティストの現地案内や、会場の整備、作品制作補助までいろいろです。

その他に、アーティスト・イン・レジデンスというアーティストが市に滞在して、作品を制作、公開する事業のお手伝いもしています。

意識して取り組んだこと

あまり協力隊という肩書を生面に出さずに活動しています。協力隊というフィルターを通してではなく個人として見てほしいからです。それから、できるだけ外に出て地域の困っている人をお手伝いしたいと思っています。思い出深いのは芸術祭の準備で、八坂地区の住民の方との共同作業。みなさんすごく良い人たちで、一緒に楽しみながら現場で作業しました。まるで青春の一コマのようでした。ちょうど母が大病を患い、不安な気持ちでいっぱいだった時で、作業に没頭することで心の平静を保てました。

大町市に住んでみて

山やゲレンデに近く、天気を見て好きな時に行けるのが魅力です。朝や夜にちょっとだけ滑りにいくことも。ここに住んでいることで、家族との時間を大切にしながら自分の趣味も大事にできます。四季を感じられるし、おいしい野菜が安く手に入る。大町は良いところがいっぱいですね。

今後について

3年目の活動は任期後に向けての準備をする予定でしたが、芸術祭の延期で最終年にずれ込んでしまいました。コロナ禍の特例で、隊員任期を2年延長することにしました。任期後はカレーを提供するお店を開きたいです。店には山道具や本なども置きたい。この地域にまだないお店をつくって、外からの人の流れをつくっていききたいですね。

池田さんから、
隊員の皆さんにメッセージ

一緒に楽しく地域を盛り上げていきましょう！



▲ 銀世界で雪遊び



▲ 家族で登山



▲ 市内の公園で

数馬 元美 さん(51)

任期	2020年4月～
出身地	京都府
前居住地	京都府
前職	農産物直売所 販売員
趣味	登山・農作業



現在の活動

- ・ 移住定住促進

隊員になる前

長野県に移住する前は、京都にあるメーカーで事務の仕事をしていました。山登りが趣味で、近場の低山にはよく登っていました。ある時、知人からすすめられた北アルプス登山に挑戦。すっかり魅了され、それからこちらの地域には毎年訪れるように。山の近くで好きな生活をしたいのと思い、まずは単身で筑北村に移り住みました。農産物直売所で働きながら、1年半ほど生活。標高が高い地区で、冬の厳しさは想像以上でした。

隊員になったきっかけ

長い目で見た将来のことや母との同居も考えて、雪が少なく暮らしやすいところに住みたいと思うように。池田町の移住ツアーに参加し、その際に地域おこし協力隊の制度を知りました。後に町役場から隊員募集の知らせをもらい応募。これまでに参加した移住フェアや自身の移住者としての経験を活動に生かせると思いました。

担当業務

主に、役場での移住希望者の相談対応や移住ツアーでの案内などを行っています。世代も相談内容もさまざま、求めるライフスタイルも人によって違います。移住の不安をどうやって取り除くかが一番難しいところですね。

また、「移住者カフェ」という町内の移住者を対象にした交流イベントを毎月開いています。定例化してから20回以上になります。餅つきや干し柿、漬物作りなど、自分の興味とつなげながら、この地域の風習を取り入れた体験を企画しています。このイベントがきっかけで、参加者同士のつながりができ、私自身も色々な方と関わりを持つことができました。

意識して取り組んだこと

意識しているのは相談者の話をよく聞くこと。活動を始めた頃は、自分の経験を言わなあと感じていたのですが、それよりも相談者が聞きたいこと、話したいことがいっぱいあるんやなって。初めはみなさん遠慮がちに話しますが、打ち解けてくると、あれもこれもといういろいろな話が出てきます。移住後に思い描いていることを本音で話してもらえようというふうにじっくりと耳を傾けています。

池田町に住んでみて

池田町での暮らしに十分満足しているので、他の地域に観光に出かけることが少なくなりました。畑と田んぼを借りて、農産物を作っています。副業として、町内の直売所で販売もしています。また、別の直売所ではアルバイトも。シーズン中は農作業で休みがなく、なかなか登山には行けませんが、農作業は好きなので苦には感じません。

今後について

任期後も直売所での仕事を続けながら、自分の農業の割合を増やしていきたいです。特に、食用ほおずきの栽培に力を入れていきたいです。こちらに移住して、そのおいしさに感動しました。色もきれいで見ていると幸せな気持ちになります。いまは手作業で畑仕事をしていますが、農業機械を導入して収量を上げていきたいです。

数馬さんから、
隊員の皆さんにメッセージ

任期中も任期後も隊員同士でつながっていきましょう！



▲ 移住フェアでの相談



▲ 移住者カフェ



▲ 収穫した旬の野菜

松川村地域おこし協力隊員
子育て応援課

前島 靖之 さん(39)

任期	2021年4月～
出身地	埼玉県
前居住地	東京都
前職	幼児体育・スポーツクラブ指導者
趣味	ウィンタースポーツ・登山



現在の活動

- ・子どもの体育支援活動

隊員になる前

大学院では運動学を専攻し、陸上競技と保健体育を主眼に学びました。卒業後、東京都の認可外保育施設で、幼児の体育指導や陸上クラブのコーチをしました。好きな仕事に力を注いで取り組んでいましたが、管理責任者として休む間もなく働く毎日。当時同じ施設で働いていた妻との結婚や今後の子育てを考えるとこの働き方は厳しいなど、妻と話し合ってから休みを確保できる異業種に転職しました。

子どもが生まれ子育てをしていく中で、のびやかに子育てができる場所への移住を考えました。趣味のウィンタースポーツや山の景色に憧れて長野県への移住を検討。県内の移住候補地を見て回った中で、松川村の景観や子育て支援の取り組みが印象に残りました。

隊員になったきっかけ

銀座NAGANOの移住相談窓口で、協力隊の制度を知りました。調べたところ松川村で隊員の募集があり応募。当初は別の任務での募集でしたが、より私の経験を生かせるように、現在の活動内容で採用してもらいました。

担当業務

普段は村の子育て拠点施設に在席していて、午前中は事務仕事や村の保育園に行つて園児と接しています。午後は、週4日は小学校の放課後に子どもたちと一緒に身体を使った遊びを行っています。週1回は中学校に行つて陸上競技部のコーチもしています。担当業務の枠を越えて、今年の夏には隊員の有志で夏祭りのイベントを開催。それぞれの隊員の特技を生かしたブースを出展しました。

意識して取り組んだこと

地域がこれまで育ててきたものを一気に変えるのではなく、それらを大切にしながら、より良い方向に持っていけるように意識しています。

また、「子ども」と「スポーツ」が自分の仕事面でのアイデンティティなので、常に子どもと向き合う環境に身を置くようになっています。

松川村に住んでみて

一軒家を借りて住んでいますが、雪を被った朝の山を見て、妻と一緒に感動しています。それまで住んでいた都会とは違い、ここではゆったりとした時間が流れています。公園をはじめどこも広々としていて、気持ちのびやかになります。

地域で受け入れてもらえるか、初めは不安でしたが、優しい方が多く温かい地域です。近所の方も親切で、野菜をもらったり、子どもにお孫さんの服を譲ってもらったり。良き理解者に囲まれて暮らしています。

今後について

村では、子どもたちを取り巻くスポーツ環境整備のための組織作り構想が始まるうとしています。任期後は、私のこれまでの経験を生かして、村内のさまざまなスポーツ団体の運営をサポートし、村のスポーツを盛り上げる活動に取り組んでいきたいです。また、個人事業として、自らが主体になって子どもを対象にした総合的なスポーツ教室も開いていきたいと考えています。

前島さんから、
隊員の皆さんにメッセージ

市町村を越えて隊員同士でつながって、互いに手を取り合っていきたいと思います。

松川村地域おこし協力隊



▲ ランニングコミュニティの仲間と



▲ 夏のイベントで水鉄砲合戦！



▲ 児童クラブの子どもたちにボッチャ体験

北アルプス地域で活躍している
元協力隊員の方にお話を伺いました

現在の活動

- ・小谷ファットバイクセンター
代表



元小谷村地域おこし協力隊員

新井 東珠 さん(47)

任期 2013年～2016年
 出身地 栃木県
 前居住地 静岡県
 前職 化学メーカー
 隊員時の活動 自然エネルギー振興

隊員になる前

静岡県の化学メーカーで、製造技術の仕事をしていました。元々、アウトドアスポーツが好きで、その当時からスノーボードやロードバイクを楽しむに、毎週のように白馬に通っていました。いずれはこちらに住みたいと思っていました。

隊員になったきっかけ

現地に住む知人から小谷村で地域おこし協力隊員の募集があると聞きました。任務は自然エネルギー振興。地球環境や温暖化への関心があり、住みたい場所と興味のある仕事とがマッチして、隊員に応募しました。

隊員時の業務

主な活動内容は、村から湧き出る温水を利用した熱利用を考えること。毎日、井戸に通って調査をしました。

他の活動として、村からの要望で小学校の放課後に化学実験教室を開きました。化学に興味を持った自分の実体験から、子どもたちにも同じ経験をしてほしいとの思いで、任期後も含めて6年間続けました。

意識して取り組んだこと

「何でもやってみよう」の精神で、自分の興味とつながっているような企画をしました。村のオフシーズンである春と秋に観光客を呼び込む目的で、他の隊員と「小谷ヒルクライム」という坂道を走るサイクリングコースを企画。大町市と白馬村との共同でのサイクルツーリズム事業として、マップやサイトを作りました。

意識していたのは、地域にあるものをどう生かすかという視点です。村の「塩の道祭り」に関連して

その由来を知ってもらおう意図で糸魚川の海岸で海水で塩を作る企画もしました。

任期後に向けた準備

隊員に着任した当初から、任期後は自分が好きな自転車関連の事業で起業しようと考えていました。ロードバイクでのガイドツアーを想定していました。冬に走れないことが課題でした。模索する中で出合ったのが、雪の上を走れる「ファットバイク」という自転車。自分が事業にしたかった「自転車」と小谷村の資源である「雪」が結びつきました。

現在の活動

任期後に「小谷ファットバイクセンター」を開業しました。いまの店舗に移ったのは、2018年。7割くらいはDIYで内装を改修しました。ガイドツアーだけでなく、自転車の修理も受けています。

また、自然エネルギーについて身近に感じてもらうための活動として、ソーラークッカー体験を開いています。イベントなどで、太陽熱で沸かしたお湯で入れたコーヒーを飲みながら環境についての話をしています。

今後について

村が電動アシスト自転車レンタル事業を行って、その管理・運営を受託しています。将来的にはバッテリーの充電をソーラーパネルによる発電でまかなえるようにしていきたいです。

新井さんから、 隊員の皆さんにメッセージ

自分のスキルを生かしてどのように任期後生活していくか、早い時期から考えておくと思いいます。具体的なイメージを持ちましょう。



▲ 雪上ライド



▲ 店内と自転車



▲ ソーラークッカー

小谷ファット
バイクセンター



令和5年2月に大町合同庁舎で「地域おこし協力隊北アルプス地域交流会」を開催しました。

北アルプス地域振興局では、地域おこし協力隊の皆さんが、より一層充実した活動や定住に向けた取組を行えるよう、市町村の枠を越えた交流や研修の場を設けています。

近年では、令和元年11月に小谷村で地域おこし協力隊員と地域づくりネットワーク北アルプス支部会員等による交流会、令和3年1月にオンライン研修会を開催してきました。

令和4年度は、交流会を開催し、隊員OBの皆さんによる事例発表と隊員の皆さんによる意見交換を行いました。

ご参加いただいた隊員の皆さん、事例発表等をしていただいた隊員OBの皆さん、ありがとうございました！



長野県 PR キャラクター「アルクマ」
@長野県アルクマ

隊員OBの事例発表

今回は、池田町、松川村、小谷村の隊員OBの方に、任期中の活動や定住に向けた取組、任期終了後の生活・仕事等について、お話しいただきました。

隊員の皆さんから「隊員OBのお話が聴きたい！」というお声をいただき、地域に定住された隊員OBの方を3名お呼びしました。実験に基づくとお話しは、今後の活動や定住に向けた取組の参考になったのではないのでしょうか。

事例発表ありがとうございました！



▲大日方冬樹さん（元小谷村隊員）
おたり自然学校校長

*協力隊通信 Vol. 5 に、大日方さんへのインタビューを掲載しています。



▲高橋克弥さん（元松川村隊員）
就農（お米など）

*協力隊通信 Vol. 2 に、現役隊員時代の高橋さんへのインタビューを掲載しています。



▲鈴木俊輔さん（元池田町隊員）
ローカルライター

*協力隊通信 Vol. 1 に、現役隊員時代の鈴木さんへのインタビューを掲載しています。

意見交換会

交流会の後半では、隊員の皆さんに、「活動について」と「任期終了後について」の2つのテーマでざくばらんに意見交換を行っていただきました。

今回の交流会が、隊員の皆さんの今後の活動・定住の一助になりましたら幸いです。



▼隊員 OB をファシリテーターに
参加者同士で意見を交換。



▲2グループに分かれて、
活動のことや任期終了後に
向けた目標などを話し合いました。

北アルプス地域振興局の取組

北アルプス地域では、多くの地域おこし協力隊員の皆さんが、移住・定住、農業、観光振興などの様々な分野で活動されています。また、任期終了後も当地域に定住して、起業、就業、就農されたり、当地域を離れても引き続き当地域に愛着を持ち、関わりを持ってくださっている方々が多くいらっしゃいます。

北アルプス地域振興局では、隊員の皆さまの活動や任期後の取組を次のとおり支援しています。

● 交流会・個別相談会の開催

協力隊OB・OGの方による事例発表、意見交換会、起業・就農等の個別相談 等

● 地域おこし協力隊・北アルプス地域サポーター制度の運営

当地域の金融・商工・農業等の分野の専門家や協力隊OB・OG等に「地域おこし協力隊・北アルプス地域サポーター」として登録いただいています。

「地域おこし協力隊・北アルプス地域サポーター」へ相談を希望される隊員の皆さま、地域のために活動する隊員を応援したいという地域の皆さまは、北アルプス地域振興局までご連絡ください。

● 「KitaAlps地域おこし協力隊通信」

北アルプス地域で活動する隊員の日ごとの活動や任期後の目標等についてインタビューをした「KitaAlps地域おこし協力隊通信」を発行しています。

これまでに発行した「KitaAlps地域おこし協力隊通信」は、こちらからご覧いただけます！



「こういう内容の交流会を企画してほしい」「サポーターに相談したい」などご希望がありましたら、下記までご相談ください。

北アルプス地域振興局企画振興課



0261-23-6501



kitachi-kikaku@pref.nagano.lg.jp

各種相談窓口や地域おこし協力隊に関する情報のご案内

地域おこし協力隊について

● 総務省 地域おこし協力隊ホームページ

地域おこし協力隊の概要、イベント情報等が掲載されています。



● 一般社団法人 移住・交流推進機構 (JOIN) 地域おこし協力隊ホームページ

地域おこし協力隊に関するイベント情報や隊員インタビュー等が掲載されています。



● 地域おこし協力隊サポートデスク ※総務省からの委託を受け移住・交流推進機構 JOIN が運営

地域おこし協力隊になった方等へのケアサポートや制度を運用する自治体職員へのアドバイス等を行っています。

隊員として頑張っている中で、壁にぶつかったり、上手くいなくて悩んだりしたときや、周囲に相談しづらいときは、一人で抱え込まず、お気軽にこちらの相談窓口をご利用ください。



隊員向け窓口

☎ 03-6225-2318

地方公共団体職員向け窓口

☎ 03-6225-2319

創業支援

● 信州スタートアップステーション

長野県が設置する創業支援拠点で、中信地区では松本市に拠点があります。中小企業診断士、会計士等の経験豊富なコーディネータによる相談対応やセミナーの開催等を行っています。

「創業を考えているけれど具体的なイメージが湧かない」「事業計画や資金計画をどう進めたらいいのか迷っている」という方はこちらにご相談ください。



相談窓口 ☎ 026-227-9821

● 長野県事業継承・引継ぎ支援センター

創業を目指す方などと後継者を求めている企業・個人事業主が相互の希望条件を登録することで、事業引継ぎのマッチングを支援する仕組み「長野県後継者人材バンク」を設けています。

創業を考えている方は、引継ぎによる創業も一つの方法としてご検討いただき、興味・関心のある場合は、こちらにご相談ください。



相談窓口 ☎ 026-219-3825

🗨️ 上記のほか、長野県は様々な創業支援を行っています！
長野県公式ホームページもご覧ください。

長野県で創業する方を応援します！（長野県 産業労働部経営・創業支援課）



就農

● デジタル農活信州(長野県農政部農村振興課)

就農するまでに必要な知識や体験など就農準備の進み具合をチェックできるサイトです。就農希望者向けの相談会や体験イベント等の情報も掲載されています。

